

議 副 局 次 主 務 議 主 主 係
長 議 長 長 幹 査 任 係
長 長 長 幹 査 任 係

別記様式(第7条関係)

令和6年4月30日

桑名市議会議長
富田 薫 様

会派名 未来
代表者氏名又は議員氏名

近藤 浩

政務活動費収支報告書

桑名市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、令和5年度
政務活動費収支報告書を提出します。

1. 収入

政務活動費 2,600,000 円

2. 支出

科目	金額	備考
調査研究費	757,272	
研修費		
会議費		
広報・広聴費	1,323,726	
資料作成費		
資料購入費	80,770	
要請・陳情活動費		
人権費		
事務費	5,599	
合計	2,167,367	

3. 残額

432,633 円

(注)備考欄には、支出の内訳を記載する。

会 計 帳 簿

支払 番号	年 月 日	支払項目	内 容	収 入	支 出	残 額
	2023/4/15		政務活動費 前期分	1,800,000		1,800,000
1	2023/4/20	調査研究費	タブレット端末通信料(前期分)		122,760	1,677,240
2	2023/5/26	調査研究費	日本自治創造学会研究大会「自治力を高める」及び常総市行政視察		283,520	1,393,720
3	2023/6/6	事務費	コピー用紙代		1,705	1,392,015
4	2023/7/3	広報・広聴費	会派だよりデザイン代		134,750	1,257,265
5	2023/7/3	広報・広聴費	会派だより印刷代・折込代		527,113	730,152
6	2023/10/25	調査研究費	全国市議会議長会フォーラム及び岡山市議会行政視察		299,842	430,310
	2023/12/15		政務活動費 会派異動分	50,000		480,310
	2024/1/15		政務活動費 後期分	750,000		1,230,310
7	2024/1/31	広報・広聴費	会派通信NO.6デザイン料		134,750	1,095,560
8	2024/1/31	広報・広聴費	会派通信NO.6印刷折込料		527,113	568,447
9	2024/2/26	事務費	コピー用紙		3,894	564,553
10	2024/3/1	調査研究費	タブレット端末通信料(後期分)		51,150	513,403
11	2024/3/19	資料購入費	議員力アップ動画セミナーおよび質問力アップ合宿動画データ購入費		80,770	432,633
合計				2,600,000	2,167,367	432,633

支 払 伝 票

令和 5 年 4 月 20 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	1
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 4 月 20 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 4 月 20 日		
支 払 金 額	122,760 円		
支 払 先	桑名市長 伊藤徳宇		
使 途 内 容	タブレット端末通信料(前期分) 122,760 円		
備 考	1人1か月あたりタブレット端末通信料3,410円(税込) 3,410×4人×9か月=122,760円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号																																																																	
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費																																																																
桑名市 24-205 納入通知書兼領収書 〒 511-8601 住 所 三重県桑名市中央町2丁目37番地 未 来 近 藤 浩 様 <table><tr><td>年 度</td><td>伝票番号</td><td>予算</td><td>会計</td><td>所属</td></tr><tr><td>5</td><td>0003702 - 001</td><td>0</td><td>1</td><td>30010</td></tr><tr><td>款 項</td><td>目 節</td><td>1</td><td colspan="2">議会費収入</td></tr><tr><td>21</td><td>4 3 細節</td><td>10</td><td colspan="2">タブレット端末使用料</td></tr><tr><td>金 額</td><td colspan="5">122,760 円</td></tr><tr><td>納 期 限</td><td colspan="5">令 和 5 年 4 月 28 日</td></tr><tr><td>所 管 課</td><td colspan="5">議会事務局</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="5">令和5年度タブレット端末通信料(前期分)</td></tr><tr><td>発 行 日</td><td colspan="5">令 和 5 年 4 月 18 日</td></tr><tr><td colspan="5">上記金額を納入してください。 桑 名 市 長</td></tr><tr><td colspan="3">上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関</td><td colspan="2">領 収 日 付 印 </td></tr></table> ※領収日付印のないものは無効です。 (納入者保管) 桑名市 24-205						年 度	伝票番号	予算	会計	所属	5	0003702 - 001	0	1	30010	款 項	目 節	1	議会費収入		21	4 3 細節	10	タブレット端末使用料		金 額	122,760 円					納 期 限	令 和 5 年 4 月 28 日					所 管 課	議会事務局					摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(前期分)					発 行 日	令 和 5 年 4 月 18 日					上記金額を納入してください。 桑 名 市 長					上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関			領 収 日 付 印 	
年 度	伝票番号	予算	会計	所属																																																													
5	0003702 - 001	0	1	30010																																																													
款 項	目 節	1	議会費収入																																																														
21	4 3 細節	10	タブレット端末使用料																																																														
金 額	122,760 円																																																																
納 期 限	令 和 5 年 4 月 28 日																																																																
所 管 課	議会事務局																																																																
摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(前期分)																																																																
発 行 日	令 和 5 年 4 月 18 日																																																																
上記金額を納入してください。 桑 名 市 長																																																																	
上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関			領 収 日 付 印 																																																														
領 収 書 等 添付合計金額	122,760 円 (内、政務活動費充当額 122,760 円)																																																																

支 払 伝 票

令和 5 年 5 月 26 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	2
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 5 月 26 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 5 月 26 日		
支 払 金 額	283,520 円		
支 払 先	JR他		
使 途 内 容	日本自治創造学会研究大会「自治力を高める」及び常総市行政視察 283,520 円		
備 考	交通費 102,960円 宿泊代(2日分) 94,400円 朝・夕食代(2日分) 24,000円 参加費 60,000円 手土産代 2,160円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

活動実績旅費明細書

令和 5年 5月 26日

会 派 名 又は議員名	未来						会派代表者 又は議員印				
参 加 者 氏 名	藤本 直子 伊藤 知美 水谷 憲治 近藤 浩						支 払 項 目	調査研究費			
							支 払 番 号	2			
場所(調査先)	明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 常総市役所						会計帳簿記入				
年 月 日	2023/5/24-26						計算確認印				
概 算 額				精 算 額				差 引 額			
0 円				25,740 円 (18分)				25,740 円 (18分)			
月 日	乗車駅名	時刻	路線・ 列車名	降車駅名	時刻	キロ数	運賃	特急・急行券 座指	普通	日 当	宿 泊
5 24	桑 名		関西線	春 田			330				
	春 田		関西線	名 古 屋			6,380				
	名 古 屋		新幹線	東 京		366.0		4,920			
5 26	飯 田 橋		中央線	秋 葉 原			150				
	秋 葉 原		つくば EXP	守 谷			840				
	守 谷		関東鉄道	水 海 道			360				
	水 海 道		関東鉄道	守 谷			360				
	守 谷		つくば EXP	秋 葉 原			840				
	秋 葉 原		中央線	東 京			150				
	東 京		新幹線	名 古 屋		366.0		4,920			
	名 古 屋		関西線	春 田		23.8					
	春 田		関西線	桑 名			330				
概 算 額				0			0	0	0	0	0
精 算 額				25,960			16,120	9,840	0	0	0
過不足の理由											
備 考		※東京⇄桑名間の通し乗車券は往復13,200円だが、桑名⇄春田、春田⇄東京で購入(往復13,420円)しているため、差額220円については、自己負担することとした。									

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 証

未来

様 No. _____

★全 6480円也

軽減税率対象

但 品代

5 年 5 月 22 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	8%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

桑 名 市 田 町 3 0
た か ね や
本店 (0594) 22-2828
工房 (0594) 23-2828

コクヨ ウケ-1097

領収書

ご利用日付 2023年05月24日

時刻 07時55分

取引内容: 乗車券 金 1320円

伝票番号 22084

●この領収書は大切に保管してください。

●毎度ありがとうございます。

桑名駅 券102発行 JR東海

(乗車)春田→桑名(48分)

※ 聞きとりによると、3か所への土産(1個あたり2,160円)を
購入したとのこと。
そのうち、桑名市への土産代2,160円について
政務活動費への充当を認めた。

領 収 書 等
添付合計金額

7,800

円 (内、政務活動費充当額 2,600 円)

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

No. 1312

領収書

2023年05月26日

桑名市議会会派未来 様

金額(税率10%) 1,440円

但し 乗車券類 として

上記の通り証明いたします。

水海道駅・窓処6

登録番号T8050001009061
関東鉄道株式会社

領収書-No 2
窓口-No 751

領 収 書

桑名市議会会派 未来 様

金額 ￥1,320円
[消費税等込み]

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2023年 5月26日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印 紙 税 申 告 納
 付につき名古屋中村
 税 務 署 承 認 済

桑名駅

現金出納社員 XXXXXXXXXX

<乗車券> 桑名 → 春田 (4人分)

<乗車券> 水海道 → 守谷 (4人分)

領 収 書 等 添付合計金額	2,760 円 (内、政務活動費充当額 2,760 円)
-------------------	------------------------------

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証 会派 未来 様

ご利用日付 2023年05月26日

時刻 16時51分

取引内容：乗車券類 (税率：10%)
購入金額 金 450円
お支払方法 内訳
現金 金 450円

伝票番号 33707

秋葉原駅 券402発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

・この領収証は大切に保存してください。
・ご利用ありがとうございます。

領収証 会派 未来 様

ご利用日付 2023年05月26日

時刻 16時51分

取引内容：乗車券類 (税率：10%)
購入金額 金 150円
お支払方法 内訳
現金 金 150円

伝票番号 33706

秋葉原駅 券402発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

・この領収証は大切に保存してください。
・ご利用ありがとうございます。

<乗車券>秋葉原→東京(3名分) <乗車券>秋葉原→東京(1名分)

領収書

ご利用日付 2023年05月26日

時刻 15時42分

会派 未来

取引内容：乗車券
金 1680円

伝票番号 76075

・この控は大切に保存してください。
・毎度ありがとうございます。

守谷駅 券203発行
首都圏新都市鉄道

<乗車券>守谷→秋葉原(2名分)
<乗車券> 2 →

領収書 (お客様)

会派 未来 様

ご利用年月日 2023年05月26日
時刻 15時43分

取扱内容：乗車券代として

領収金額 1,680円

この領収書は大切に保存してください。
ご利用ありがとうございます。

<記事>

領収書等
添付合計金額

3,960 円

取扱者

守谷駅・0390-501
首都圏新都市鉄道株式会社

NO. 4774

領収書等貼付用紙

整理番号	
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費

領収証 会派 未来 様

ご利用日付 2023年05月26日
時刻 08時45分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金 450円
お支払方法 内訳
現金 金 450円

伝票番号 35054

・この領収証は大切に保存してください。
・ご利用ありがとうございます。

飯田橋駅 券107発行
登録番号 13011001029597 JR東日本

<乗車券> 飯田橋 → 秋葉原 (3人分)

領収証 会派 未来 様

ご利用日付 2023年05月26日
時刻 08時46分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金 150円
お支払方法 内訳
現金 金 150円

伝票番号 35055

・この領収証は大切に保存してください。
・ご利用ありがとうございます。

飯田橋駅 券107発行
登録番号 13011001029597 JR東日本

<乗車券> 飯田橋 → 秋葉原 (1人分)

領収書

ご利用日付 2023年05月26日
時刻 10時04分
カード番号:

取引内容: 乗車券購入 金 720円

会派 未来

伝票番号: 27063

・領収書の再発行はいたしません。
・ご乗車ありがとうございます。

関鉄守谷駅 自01発行
関東鉄道株式会社

<乗車券> 守谷 → 水海道 (2人分)

領収書

ご利用日付 2023年05月26日
時刻 09時14分

会派 未来

取引内容: 乗車券
金 840円

伝票番号 49512

・この控は大切に保存してください。
・毎度ありがとうございます。

秋葉原駅 券201発行
首都圏新都市鉄道

<乗車券> 秋葉原 → 守谷 (1人分)

領収書

ご利用日付 2023年05月26日
時刻 09時15分

会派 未来

取引内容: 乗車券
金 2520円

伝票番号 49513

・この控は大切に保存してください。
・毎度ありがとうございます。

秋葉原駅 券201発行
首都圏新都市鉄道

<乗車券> 秋葉原 → 守谷 (3人分)

領収書

ご利用日付 2023年05月26日
時刻 10時03分
カード番号:

取引内容: 乗車券購入 金 720円

会派 未来

伝票番号: 27062

・領収書の再発行はいたしません。
・ご乗車ありがとうございます。

関鉄守谷駅 自01発行
関東鉄道株式会社

<乗車券> 守谷 → 水海道 (2人分)

領収書等 添付合計金額	5,400 円 (内、政務活動費充当額 5,400 円)
----------------	------------------------------

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 証

水谷 寛治 様 No. 162

金 額

¥ 15000 -

但 第15回 日本自治創造学会研究大会 参加費
2023年 5月 24日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-695

一般財団法人

日本自治創造学会

理事長 穂 坂 邦 夫

東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

領 収 証

近藤 浩 様 No. 59

金 額

¥ 15000

但 第15回 日本自治創造学会研究大会 参加費
2023年 5月 24日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-695

一般財団法人

日本自治創造学会

理事長 穂 坂 邦 夫

東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

領 収 書 等
添付合計金額

30,000 円 (内、政務活動費充当額 30,000 円)

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 証

金 額

715000-

但 第15回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2023年 5月 24日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-695

藤本 直子 様 No. 146

一般財団法人
日本自治創造学会
理事長 穂 坂 邦 夫
東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

領 収 証

金 額

715000-

但 第15回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2023年 5月 24日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-695

伊藤 知美 様 No. 15

一般財団法人
日本自治創造学会
理事長 穂 坂 邦 夫
東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

領 収 書 等 添付合計金額	30,000 円 (内、政務活動費充当額 30,000 円)
-------------------	--------------------------------

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 証

金額 184,800

内 訳

現金

小切手

手形

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但 2003年 6月 1日 上記正に領収いたしました

ビーラックトラベル株式会社

〒511-0074 三重県桑名市南寺町63

総合旅行業務取扱管理者 水谷寛治

登録番号 TEL 0594-87-5129

200

GR1619

※ 春田 ↔ 東京 乗車券
名古屋 ↔ 東京 特急券
宿泊費(2日分) 5,000

領 収 書 等 添付合計金額	184,800 円 (内、政務活動費充当額 184,800 円)
-------------------	----------------------------------

請 求 書

2023年 5月 28日

桑名市議会

会派 未来 様

この度は、弊社にご下命頂き誠に有難うございます。
下記の通りご請求申し上げます。

ビーラクトラベル株式会社

三重県知事登録第3-348号

〒511-0074 三重県桑名市南寺町63番地

T E L 0594-87-5100 F A X 0594-87-5101

代表取締役 水谷 憲治

担当者 :

請求金額 184,800 円

御旅行 日程 2023年 5月 24日 ~ 5月 26日

項目	数量	単価	金額	備考
JR新幹線代	4	11,300	45,200	名古屋 ⇒ 東京
JR新幹線代	4	11,300	45,200	東京 ⇒ 名古屋
御宿泊代	4	11,800	47,200	24日 ご宿泊分
御宿泊代	4	11,800	47,200	25日 ご宿泊分
企画費	4	0	0	
取扱費	4	0	0	
合計			184,800	

振込の場合は下記口座までお振込み下さい。

銀行名 百五銀行

支店名 員弁支店

口座番号 普通預金

口座名義 ビーラクトラベル株式会社

誠に恐れ入りますが、振込手数料はお客様でご負担いただきますようお願い申し上げます。

調査研究・研修活動実績報告書

令和5年 5月26日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会 派 代 表 者 印 又 は 議 員 印	
視 察 年 月 日	令和 5 年 5 月 24 日(水) ～ 26 日(金)		
時 間	下記のとおり		
参 加 者 氏 名	近 藤 浩		
場 所 (調査先)	○5月24日(水)・25日(木) 第11回日本自治創造学会研究大会 明治大学アカデミーホール ○5月26日(金) 埼玉県常総市役所ほか		
調査・研修先説明者	下記のとおり		
目 的 ・ 内 容	■第1日目 5月24日(水) 13:00～13:10 大会挨拶 日本自治創造学会理事長 穂坂邦夫氏 13:10～13:50 講演「DX時代の日本の原動力を考える」 東京工業大学 益一哉氏 13:50～14:30 講演「社会インフラ管理の重要性と人材育成」 北海道大学客員教授 石川雄章氏 14:50～15:40 ・事例発表 「新たな議会の挑戦 議員政策条例の推進」 埼玉県議会議員 田村琢実氏 「埼玉県議会へ問う 地方議会のあり方」 日本自治創造学会理事長 穂坂邦夫氏 15:50～17:20 ・自治体事例発表 「教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり」 群馬県太田市市長 清水聖義氏 「スマートシティの新たな挑戦」 石川県加賀市長 宮元睦氏 「ひと・まち・未来が輝き世界につながるまちを目指して」 岩手県盛岡市副市長 中村一郎氏 ■第2日目 5月25日(木) 10:00～10:40 講演「地域の活性化と組織の自立・連携」 財務省大臣官房政策立案総括審議官 渡部晶氏 10:50～11:30 講演「出生率2.95 人口維持のまちづくり」 岡山県奈義町長 奥正親氏 13:40～15:20 パネルディスカッション 「自治力を高めるには！」 パネリスト 明治大学教授 牛山久仁彦氏 愛知大学教授 後房雄氏 東京大学教授 金井利之氏 東京都立大学教授 宮台真司氏 コーディネーター 明治大学教授 西出順郎氏		

【要望事項】 下記事項をアンケート用紙に記入し要望した。

- 一題一題の所要時間が30分～40分と短いためか講演内容の展開スピードが速く、理解が進まない講義があった。
- 大会資料に講師のパワーポイント資料が収められているものとなないものがあるので、理解しやすくするために収録してもらいたい。
- 行政の先進事例を学ぶことも重要だが、地方議会の役割に特化した内容の講演も何題か取り上げてもらいたい。

●埼玉県常総市視察

【弘経寺】

千姫ゆかりの寺である弘経寺を訪問。常総市文化財担当学芸員の土井義行氏の案内説明のもと、本堂などを見学した。貴重な品等を拝見しながら往時に思いを馳せ、千姫プロジェクト成功への思いを強くした。(別添資料あり)

【常総市役所】

常総市役所では、常総市議会議長坂巻文夫氏、副議長佐藤剛士氏ほか同席のもと、商工観光課長岡野富士男氏から、常総市の千姫プロジェクトの取り組み状況等について、お話を伺った(別添資料あり)。

常総市では、千姫を通した活動として、平成9年に観光大使千姫様を制定、平成12年には「千姫となごみの街みつかいどう」という市のキャッチフレーズ作成、平成13年には「千姫まつり」を実施、平成24年には千姫をモチーフにしたゆるキャラを作成、以降、全国のイベントに参加しPRすると同時に、大河ドラマ誘致に向けての会合にも積極的に参加している。

お話を伺う中で課題としては、千姫を用いたグッズも作成されているがまだまだ市民への気運が高まっていないとのことで、桑名市についても同様の課題であると認識した。

やはり、市民の盛り上がりなくして、大河ドラマ誘致プロジェクトの成功はないと思うので、議会等を通じて、成功への施策等を提言していきたい。

【成果・所感】 主な講義について、下記のとおり受講所感を記載する。

●講演「DX時代の日本の原動力を考える」

地球温暖化、近年の異常気象、災害の多発、人口の減少などの環境の中、社会資本(道路・トンネル・河川施設・上下水道管渠、港湾施設など)の老朽化が進んでいる。そのような中、国は「インフラ分野のDXアクションプラン」を作成しDXを強力に推進している。講師からはドローンやセンサー、オープンデータ、カメラなどを活用することで新たな産業と雇用につながる可能性があることを事例により説明いただいた。自治体においても機械にできることは機会に任せ人はリアルな経験や知識を積み重ね技術力を高める必要があることや自治体が保有するデータを横断的に利用し行政サービスの向上とコスト削減を両立させること、職員はデジタル活用のスキルを身に着ける必要があることを説明いただいた。今後の社会情勢の変化に対応していくためには様々な分野においてDXを活用する仕組みづくりや人材育成が必要であると感じた。

●講演「新たな議会の挑戦 議員政策条例の推進」

講師からは、埼玉県議会における議員政策条例の内容や、政策条例の主な制定過程について説明いただいた。説明を聞いて、まずは、条例制定することへの意識を持たなければならないことや制定に関わる情報収集能力であったり、立案能力を高めたりしなければならないと感じた。しかし、議員による政策条例の制定には、実質、議会事務局への負担となることもあることから、そのあたりのことを踏まえて、政策条例の制定について、今後、勉強していきたいと思う。

●事例発表「教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり」

講師の群馬県太田市長は現在5期目の81歳で、ご自身はデジタルには疎く、アナログの方がいいとのことではあるが、様々なことに取り組んでいることをお聞きした。給食の無償化、ふるさと納税返礼品にプロバスケット観戦券導入をはじめ、特に英語教育とスポーツに力をいれていて、ぐんま国際アカデミー、太田スポーツ学校、太田芸術学校、太田プログラミング学校を運営している。講師が言われた「特色を持ってまちを作っていないとダメだ」という言葉が印象的で、個性ある街づくりの重要性を学んだ。

●講演「スマートシティの新たな挑戦」

石川県加賀市では、DX時代の個性あるまちづくりを推進するため、市民とともに戦略的に進める「スマートシティ推進官民連携協議会」を設立している。また、スマートシティ構想、スマートシティ宣言を発表している。同市では、アメリカ発祥のロボットプログラミングの国際大会の開催、プログラミング教育の推進、ブロックチェーン都市宣言、コンピュータークラブハウス加賀の開設、RPA導入、AIによる水害の事前予測、アバターの活用、空飛ぶクルマやドローンの実証フィールドの提供、マイナンバーカード交付率全国三位、加賀市版スマートパス構想事業、ビジネスクリエイターを創出する大会開催などに取り組んでいる。今後、発生するであろう消滅都市からの脱却や都市間競争に打ち勝っていくためには、確かな戦略が重要になってくるのはもちろんのこと、先進テクノロジーの導入を推進しなければならないし、それに対応できる人材育成も非常に重要になってくると思う。

■第3日目 5月26日(金)

10:00～11:00 埼玉県常総市弘経寺

説明 文化財担当学芸員

土井義行氏

13:30～15:30 埼玉県常総市役所

対応 常総市議会議長

坂巻文夫氏

常総市議会副議長

佐藤剛士氏

常総市議会事務局長

古谷篤氏

常総市議会事務局主査

横島弘幸氏

常総市商工観光課長

岡野富士男氏

常総市商工観光課主事

鈴木祐太氏

調査研究・研修活動実績報告書

R5年7月3日

会 派 名 又 は 議 員 名	未来		会派代表者印 又 は 議 員 印	
年 月 日	R5年5月24日(水)～R5年5月26日(金)			
時 間	8時00分～21時00分			
参加者氏名	藤本直子			
場 所 (調査先)	明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 茨城県常総市役所PT			
調査・研修先説明者	棟坂 邦夫(1財)日本自治創造会理事長) 益一哉(東京工業大学学長)他 常総市役所PT職員、議員			
目的・内容	<1日目> ○日本自治創造学会 研究大会参加 (講演) DX時代の日本の原動力 を考える (事例発表) 議員政策事例検証 (自治体事例発表) 群馬県太田市 石川県加賀市	<2日目> (講演) 地域の活性化と組織の 自立・連携 ・国会議員見学 吉川先生挨拶	<3日目> 茨城県常総市行政視察 (常総市の大河ドラマ 訪致に向けての活動について)	
成果・所感	議会から政策条例とたくさん出されている埼玉県議会にはすばらしいと感じ、群馬県太田市長は企業訪致に成功させ、教育、スポーツ、音楽などの特化している学校を1件お訪し聞き取り、群馬市も企業訪致に成功させるべきであると感じ。 常総市では千姫大河ドラマ訪致に向けてグッズが作られており、ホステスや署名活動、千姫キャラバンなどがくりだされており、覚悟とやる気を感じることができた。市民の覚悟醸成が課題にと言われている。群馬市の今後の訪致活動が楽しみです。			

(注) 成果・所感は別途報告様式に替えることができる。

調査研究・研修活動実績報告書

2023年 5 月 26 日

会 派 名	未 来	会派代表者印	
年 月 日	2023年5月24日 ～ 2023年5月26日		
時 間	8時 ～ 21時		
参加者氏名	伊藤 知美		
場 所	明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 東京都千代田区神田駿河台1-1 茨城県常総市役所		
調査・研究先説明者	穂坂邦夫（（財）日本自治創造学会理事長） 益一哉（東京工業大学学長） 他 常総市役所職員 常総市議会議員		
目的・内容	1日目 ○ 日本自治創造学会研究大会参加 < 講演 > DX時代の日本の原動力を考える。 等 < 事例発表（新たな議会の挑戦） > 議員政策条例の推進（埼玉県議会） < 自治体事例発表（DX時代の個性あるまちづくり） > 群馬県太田市、石川県加賀市、岩手県盛岡市の発表 2日目 < 講演 > 地域の活性化と組織の自立・連携 ○ 国会議事堂見学、吉川先生へ挨拶 3日目 ○ 茨城県常総市行政視察 （常総市の大河ドラマ誘致に向けた活動について）		

- ・ 議員提案条例の制定についての貴重な話を聞くことができた。
- ・ 太田市の事例発表や、財務省大臣官房政策総括審議官の講演にてスポーツを地域の活性化やまちづくりに活用するという話を聞き今後の桑名のまちづくりにも取り入れることができたらいと思った。
- ・ 少子化対策を町全体で行う岡山県奈義町の経済的な支援だけでなく心を支える支援、働く場所の支援など包括的な支援が素晴らしいと思った。
- ・ 国政を身近で感じることができ、市政で働く原動力をいただくことができた。
- ・ 茨城県常総市の大河ドラマ誘致活動のための様々な取り組みの中でもゆるキャラ「千姫ちゃま」、ラッピングカー、キャラクターグッズを作って署名活動、各種イベント開催、キャンペーン活動を活発にされているのを知り、桑名ももう少しスピードをあげて取り組めるといいと感じた。
- ・ 活発な活動をされている常総市だが、市民の誘致への意気が上がっているとはいえないという状況があり、今後は学校教育での郷土愛を育むという視点での啓発を考えているとの事。これも参考にできることだと思った。

成果・所感

調査研究・研修活動実績報告書

氏名 水谷 憲治

日 時	2023 年 5 月 24 日 (水) ～ 2023 年 5 月 26 日 (金)
	別紙のとおり
研修名	日本自治創造学会 研究大会
場所等	① 東京都 千代田区 明治大学
	② 茨城県 常総市 常総市役所
目的・内容	D X時代の地方創生 ～“自治力を高める”～ 地方自治体における諸問題研究とその実績の講演を拝聴いたしました。
① 穂坂邦夫 氏 (日本自治創造学会理事長・地方自立政策研究所理事長) 他	
	D X時代を迎え、社会インフラ管理の重要性や人材の育成の他、地方議会のあり方、議員政策 条例の推進等、新たな議会の挑戦についての講演を拝聴。また、個性あるまちづくりを目指し 教育・音楽・スポーツやスマートシティへの挑戦等具体的事例とその効果を伺った。
	『成果・所感』
	地域公共交通の問題は、人口減少・少子高齢化の時代、どこの自治体に於いても喫緊の課題であり バスや地方鉄道など公共交通をいかに維持していくかである。
	特に高齢者や中高生など、自動車を使わない (使えない) 世代にとっては日常不可欠の足の役割で ある為、それを支える税制について検討していかなければならないと感じた。納税者である市民が 単に費用を負担するだけでなく地域のあるべき姿を、行政と共に議論し合意形成していかなければ ならないという事を再認識出来た事が今回の一番の収穫である。
② 茨城県常総市	
	佐藤剛史副議長・古谷議会事務局長他 各所管課長
	桑名市同様、千姫ゆかりの地として有名な常総市さんへ誘致活動等の現状や市民さんの気運など 様々な件を伺って来た。
	『成果・所感』
	関連グッズ、ノベルティーグッズ、ポスター等、色々な物品を作成し、祭りやイベントで配布・ 販売しておられる。桑名に比べると市民さんの気運は上がっている様であるが、更に努力が必要 との事。併せて署名活動も行っておられていて、我が桑名市も戦略立てて誘致活動を進めて行かな ければならない。行政主導ではなく、市民さんも巻き込んで一大ムーブメントとして誘致出来る様 努力をしていかなければならないと感じた。
☆弘経寺 (千姫の菩提寺)	
	千姫のお墓がある『弘経寺』に伺いました。
	学芸員の土井様からお寺の歴史を伺いました。
	歴代将軍の位牌もあり歴史や由緒のある佇まいの寺院で、再び伺いたいと思いました。

支 払 伝 票

令和 5 年 6 月 6 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	3
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 6 月 6 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 6 月 6 日		
支 払 金 額	1,705 円		
支 払 先	日商器材株式会社		
使 途 内 容	コピー用紙代 1,705 円		
備 考	1/2を政務活動費として充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	

No 032714		領 収 証		収 入 印 紙	
新市議会会派未来 様					
金 額	千 百 十 万 千 百 十 円	2023 年 6 月 6 日			
	3 4 1 0				
現金	小切手	手形	相殺	期 日	摘 要
○				/	御請求額
				/	
				消 費 税 (10%)	3 1 0
				合 計	3 4 1 0
但					
 NSK OA機器 トータルコピー・測量機 日商器械株式会社 登録番号 T3-1900-0101-2469 〒511-0068 三重県桑名市中央町2丁目26番地 ☎(0594)21-2600(代) FAX (0594) 21-8191					
取扱者印 					

(註) 本領収証に社印・領収者名無きもの及び金額、宛名を訂正したものは無効とします

領 収 書 等 添付合計金額	3,410 円 (内、政務活動費充当額 1,705 円)
-------------------	------------------------------

桑名市議会 会派 未来 様

請 求 書

売上日付 2023/06/06 P- 1 / 1

伝 票 No. 7152035
受 注 No. 2123606
受注区分 TEL

日商器材株式会社

代表取締役 後藤 浩

三重県桑名市中央町2丁目26番地
TEL 0594-21-2600 FAX 0594-21-8191

担当 店頭 (配達)

TEL. (得意先コード: Z41)

毎度ありがとうございます。下記の通り請求致しますので御査収下さい。

品 名	数量	単位	単 価	金 額	受 領 印
アビカ コピー用紙 ペーパー-A A4 PA-A4	1	箱	3,100	3,100	
納入先:			小 計	3,100	消費税額 (310)
桑名市議会 会派 未来 様			合 計	3,410	
TEL			取引銀行	三菱UFJ銀行 桑名支店 当座	
				百五銀行 桑名支店 当座	
				桑名三重信用金庫 本店 当座	

支 払 伝 票

令和 5 年 7 月 3 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	4
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 7 月 3 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 7 月 3 日		
支 払 金 額	134,750 円		
支 払 先	アートフォレスト・デザイン		
使 途 内 容	会派だよりデザイン代 134,750 円		
備 考	7/8について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証

No.

桑名研議会会費 様 2023 年 7 月 3 日

金額									
	¥	1	5	4	0	0	0		

内
消費税等

但 金 額 1 5 4 0 0 0 円

上記正に領収いたしました

ART FOREST
アートフォレスト・デザイン

〒511-0839 三重県桑名市大字安永1185-2
[PHONE]0594.25.8570 [FAX]0594.25.8571

現金			
小切手			

HISAGO #779



領 収 書 等
添付合計金額

154,000

円 (内、政務活動費充当額 134,750 円)

桑名市議会

会派

MIRAI

みらい 未来

Vol.5

桑名市中央町2丁目37
桑名市議会 未来



撮影場所：国の重要文化財「六華苑」一の

ご挨拶

明るい「未来」をめざし、諸課題の解決に、しっかりと取り組みます。

平素は、桑名市議会及び会派「未来」に対しまして、ご理解とご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、会派「未来」では、昨年11月に執行されました桑名市議会議員選挙により新たに当選した2人の議員が加入し、4人で活動していくこととなりました。

今後も、「未来につなごう!みんなの桑名」を会派スローガンに掲げ、明るい桑名市の未来をめざして、しっかりと諸課題の解決に取り組んでまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

このたび、先に開催されました令和4年12月定例会と令和5年3月定例会の一般質問等を掲載した会派通信第5号を発行いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

結びに、皆様方のお力添えを心からお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

会派スローガン

未来につなごう!
みんなの桑名

令和5年5月吉日

会長 近藤 ひろし

市議会定例会 一般質問 令和4年12月・令和5年3月定例会の主な一般質問等と当局からの

近藤ひろし



- 現職(令和4年12月～現在)
- 会派会長
 - 都市経済委員会委員長
 - 議会改革推進特別委員会委員
 - 都市計画審議会委員
- 元職
- 議会運営委員会副委員長
 - 教育福祉委員会委員
 - 広報広聴委員会委員
 - 桑名・員弁広域連合議会議員

「スタートアップ共創推進事業」について

Q 事業のねらいと効果は？

A スタートアップとの共創推進で市内事業者の新たな収益の柱を創出し、持続可能な経営を支援するとともに、桑名市の社会的課題の解決や市民サービスの向上、地域価値の増進を図ることを目的としている。令和5年度の取組みとして、「スタートアップ共創推進事業」と「高度デジタル人材育成推進事業」を計画している。

「不登校問題」について

Q 不登校の児童生徒への対応策は？

A 桑名市の不登校児童生徒数は、増加傾向で、令和4年度は、ここ数年で最も高い数値となっており、危機感を覚えている。対応策は、子どもの思いを十分に尊重しつつ、個々の状況に応じた学びの場の提供をはじめとした支援を行っている。また、保護者に対しても、情報提供や相談の場を設定して不安や悩みの解消に努めている。

「人口減少対策」について

Q 14万リバウンドプランの必要性は？

A 人口減少は、「元気で暮らしやすい桑名」の維持が非常に困難な状況となる。少子高齢化が進行し、生産年齢人口が減少することで、経済・産業活動の縮小を引き起こし、税収減につながってしまう。また、高齢化の進行による社会保障費増加による行政サービス低下、社会インフラの老朽化や地域公共交通の縮小などによる生活利便性の低下、空き家の増加や住民組織の担い手不足など、様々な課題が発生し、桑名市発展に強く影響を及ぼすため、しっかりと対応していく。

「北勢線運営支援事業」について

Q 存続に向けた支援継続は？

A 桑名市としては、地域の移動手段を将来に渡り確保していくことは非常に重要であると認識している。地域に適した移動手段を将来に渡り持続可能なものとしていくには、しっかり調査を行った上で、今後のあり方を検討していく必要があると考えているため、慎重に議論を重ねていく。

「雨水対策」について

Q 内水浸水シミュレーション事業の内容は？

A 想定される最大規模の降雨を対象に、地形や土地利用状況、下水道や河川等の排水施設、放流先の状況などを把握し、雨水の流出解析を行い、内水の氾濫による浸水域や浸水深、浸水継続時間等のシミュレーションを行い「浸水想定区域図」を作成する。令和7年度に公表する予定で進めている。

Q 令和7年4月の開校に建設は間に合うのか？

A 本事業は令和7年4月の開校を目指し進めて来たが、用地取得に時間を要し事業発注が遅れたことから施設引渡が令和7年4月以降になる提案も許容する要求水準にて事業者の公募を行っているが、現在は事業者選定のためのプロポーザルを実施中の為、現時点では開校時期を示すことが出来ない。

【追記】令和5年1月11日全員協議会において教育委員会より、事業者が決定し契約が整った事により、工期等が決まり、令和8年4月の『施設一体型』の開校と(再)発表されました。

Q 通学時の安全安心をどのように図っていくか？

A 昨年度より地域連携部会の皆様により熱心な協議が行われており、通学方法やスクールバスのルートなど様々な課題についてご意見を頂きながら検討している。広い校区から通う子ども達の安全を確保する為には、保護者や地域による持続可能な見守り体制も不可欠である。引き続き丁寧で、きめ細やかな協議を続け、子ども達の命や安全を守っていく。

SDGsへの取組みについて

Q 増大した『ごみ処理費用』の削減の為、またリサイクル意識の向上の為、回収された粗大ごみを売却する考えはないのか？

A 回収依頼受付件数は5年前に比べ約3千件増えている。桑名市としても粗大ごみの減量や有効活用に向けた取組みが必要と認識している。粗大ごみのリサイクルやリユースは3Rの意識向上や理解を深める事に繋がり、処分費用や環境負荷の軽減などに有効な手段の一つと考え、本年3月1日よりネット型リユース事業者と連携し不用品の再利用を促進する取組みを開始する。市民とリサイクル店を売買のマッチングする仕組みで、売却という選択肢が増える事により粗大ごみの軽減、環境負荷や処理費用の軽減が図られSDGsの達成へと繋がる事を期待している。

水谷のりはる



- 現職(令和4年12月～現在)
- 会派幹事長
 - 総務安全委員会副委員長
 - 議会運営委員会委員
 - 桑名市総合医療センター調査特別委員会委員
 - 桑名・員弁広域連合議会議員
- 元職
- 教育福祉委員会副委員長
 - 広報広聴委員会委員副委員長
 - 桑名・員弁広域連合議会議員
 - 桑名市総合計画後期基本計画委員会副委員長

「多度地区小中一貫校について

Q 以前、多度中小と多度中学校の『施設分離型』とし、完成次第『施設一体型』とする『段階的開校』も視野に入れていると答弁があったが、地域の声を反映した開校方法となるのか？

A 地域や保護者の皆様から様々な意見を頂戴している。事業者の決定、契約の後には開校時期が見えてくるので、今後、頂いたご意見を含め施設一体型小中一貫校として希望に満ちた開校が出来る様に調整していく。

Q 地域の声をどのように受け止め事業に取り組んでいるか？

A これまで地域の皆様や子ども達、教職員からワークショップや聞き取り等を通じ、施設規模や諸室に関する様々な貴重な要望・意見等を頂いた。それらを盛り込み、市の総合的な判断のもと公募資料としてまとめる。現在実施中の事業者選定のプロポーザルでは、これからの時代に適した新しい学校施設としてのアイデアも盛り込まれたより良い学校となる様、選定委員会のもと事業者選定を進めて行く。

※今後も様々な御意見・御要望が出てくると思うが、ひとつひとつ丁寧に対応し事業を進めて行って欲しい。

藤本なおこ



■現職(令和4年12月～現在)
●広報広聴委員会副委員長
●教育福祉委員会委員
●桑名広域清掃事業組合議会議員

児童館について

Q 設置に対する市の考えは？

A 現在、公設の児童館としては深谷児童センター、深谷北児童センターの2カ所があり、就学前のご家庭については、子育てセンターや子育て支援センターが合わせて8ヶ所、地域の交流の場として、年間延べ5万人を超える方々が来館されている。また令和5年1月末現在、37箇所の学童保育所があり、さらに今後、子どもたちが気軽に訪れられる居場所を3カ所設置し、子どもたち同士交流を深めたり、資格取得を支援する取り組みを開始する。新たな児童館を設置することは、公共施設のマネジメントの観点やその建設費用からも現在考えていない。然しながら、妊婦の交流の場であったり、学習サポートなど複合的な要素を含めながら、地域全体で楽しく子育てできる環境づくりは、大切と考えており、その為の仕組みづくりや子どもたちが楽しむことが出来るような居場所づくりに努めていきたい。



Q 公共施設の複合化は建物の維持費軽減など利点も多いが、今後進められる小中一貫校建設の際、校内に児童館を併設する考えは？

A 予定はしていないが、地域の皆さまとの交流スペースの設置を考えている。

子育て支援について

Q 妊娠・18歳までの子どもがいる家庭の方々が、カードを掲示すると協賛店でお得なサービスが受けられる、子育て家庭応援カード「くわなスクスクカード」が対象者に浸透していないように思われるが、カードの周知方法と今後の方針については？

A 桑名市のホームページや桑名市子育てまっぶに掲載しているほか、出生時の様々な手続きの際に各施設の窓口で案内している。年間約80名の申請があり協賛店は市内122店舗、協賛店利用の連携を行っている「三重県子育て応援クーポン」を併せて周知することで広範囲で利用できるようにするとともに、オンラインを活用した申請など、利用者の方々が利用しやすい仕組みとなるように取り組んでいく。

Q 公立保育所について・各施設の現状と今後の維持管理は？また使用済みおもむつの処分については？

A 現在、市内に8園ある公立保育所は、長島中部保育所を除いては、設立から50年以上経過する建物が多く、施設の老朽化は課題である。必要性、緊急性を考慮し、優先順位をつけながら計画的に修繕を行っているところ。今後については効果的かつ機能的な保育所のあり方について検討するとともに、子どもたちを安心して預けていただける施設となるよう取り組んでいく。またおもむつの処分については、保護者、保育士双方の負担になっていることは認識している。国の動向に注視しつつ、検討を進めていく。

伊藤ともみ



■現職(令和4年12月～現在)
●教育福祉委員会委員
●桑名・員弁広域連合議会議員

「誰ひとり取り残さない」持続可能な社会実現のために

Q 不登校児童・生徒、その家族への具体的な対応・支援策は？

A 家庭訪問等を通して、児童・生徒、およびその保護者の思いを聞き、個々の状況を丁寧に把握することから進めている。気持ちを追い詰めることなく、不安な思いを解消できるようにすることが肝要であると考えている。学びの保障については、別室での個別学習、教育支援センターへの通室や家庭での情報端末、プリントでの学習を行っている。家族への支援として、家庭訪問にて、本人だけでなく保護者の状況把握をし、寄り添う支援を行い、スクールカウンセラー、専門機関と連携して対応している。教育委員会としては児童生徒一人ひとりの状況にあった保障・支援を継続し、魅力あるより良い学校づくりをしていく。



Q 障がい者等が生きがいをもち、社会参画できる農福連携のような施策の推進は？

A 障がい者福祉の一環として農作業を通じた障害福祉サービスを提供する事業者が増加している。また、利用者からも就労支援としての農作業の希望も多くニーズは高いと認識している。現在市では、障害福祉サービス事業所と共催で販売会を実施したり、野菜の販売促進のため、側面的な支援を行っている。今後は、国や県の事例や効果を参考にしながら、担当部局と連携し農福連携の推進を図っていききたいと考えている。

市の情報提供のあり方について

Q コロナ禍の生活が長引いている中、「マスク着用における子どもたちの発達への影響が心配」との声をよく聞く。これらの情報提供を市はどのように行っているか？

A 令和4年11月末の「児童生徒等のコミュニケーションへの影響に関する指摘もあることから、マスクの着用については、活動場面や活動場所に応じたメリハリある指導を行うよう」との文科省の通知を受け、各園・小中学校へ、その旨を通知するとともに、マスクの着脱を無理強いしない事、子どもたちの心情面にも配慮する事を依頼した。

防災拠点施設の斜面崩壊の危険性について

Q 劣化した防草シートが時折めくることがあり、斜面が崩壊する危険性が懸念されるが、市の見解と対策は？

A 近年の大雨により、土砂流出の被害が積み重なってきている。その都度一定の対策を実施してきており、今のところ大量の土砂が敷地外に流出するような事態には至っていない状況。そうした中、防草シートが耐用年数を迎えようとしていることから、市としては斜面保護と防災力の強化の両立を図る方向で改修を検討しており、できる限り早期に対応したいと考えている。

視察報告

会派では、議会会期以外には市内視察や各種研修会・関係会議等への出席などの活動を行っています。市内視察を行うことで、議員としての知識の修得に努めるとともに、現場の課題を把握し、市に改善を働き掛けていきます。

◆市内の児童施設を視察しました。 —厚生館保育所、児童養護施設エスペランス桑名を訪問—

1月20日(金)、会派で「厚生館保育所」を視察しました。厚生館保育所は、桑名駅北に立地しているため入所希望が多く、現在、約100人の子どもたちが元気に通所しています。

園舎は、1972年(昭和47年)に建てられ、築年数が50年を超える古い建物となっていて、老朽化が課題となっています。現在、遊戯室は耐震基準に満たさず、また、雨漏りなどの影響で使用できない状況となっています。

施設の老朽化は、保育士の皆さんの仕事へのモチベーションや保育の質にも影響してくると思います。また、老朽化によって、子どもたちの良好な保育環境を確保できなく恐れがあるため、市に対して、会派として、引き続き、計画的な修繕を求めていきたいと思っています。

続いて、4月12日(水)には、児童養護施設「エスペランス桑名」を視察しました。エスペランス桑名では、様々な事情により家庭で養育できない市内外の2歳から18歳までの児童生徒が生活しています。

子どもたちは、地域の学校や幼稚園に元気に通学・通園し、静かな環境の中、のびのびと生活しています。施設には、児童指導員や保育士、相談員や心理士などの専門職の方もいて、子どもだけではなく、家族のケアにもあたっているとの事でした。子どもたちの生活する各部屋もすべて個室で、プライバシーにも配慮されていて、家庭的環境の中できめ細やかなケアがなされています。

所属する議員4人ともに、この視察を通して感じたことは、この施設は、子どもたちの将来の自立の為の非常に重要な施設であること、また、子どもたちの心身の健やかな成長を支援しているということなど、改めて、この施設の重要性を深く認識いたしました。



▲視察した「厚生館保育所」



▲視察した「エスペランス桑名」

◆市内の上下水道施設を視察しました。 —上野浄水場、江場ポンプ場、甚内ポンプ場を訪問—

4月11日(水)、会派で「上・下水道関連施設」の3か所を視察しました。

最初に訪れた「上野浄水場」では、員弁川の伏流水をろ過、滅菌しているとの説明を受けました。ろ過するための池は7つありますが、現在、5つの池が稼働中で、ろ過は、緩速ろ過という方法を用いて、目に見えない細かいゴミや濁りを取り除いています。その後、0.4ppmと最小限の次亜塩素ナトリウムで消毒され、安心・安全な水が各ご家庭に配水されているとの事でした。

取水地などの説明では、桑名地区は、員弁川と町屋川の3つの水源(西部・南部・町屋)の伏流水・地下水と三重県企業庁の水、多度地区は、肱江川、狼谷川の漂流水を浄化した水、長島地区は、三重県企業庁の水が、それぞれ供給されているとの事でした。また、水道水の流れや水質、水道施設に異常がないかなどを、24時間体制で見守っているとの事で、私たちの毎日使う水道水が安心安全に飲めることに感謝しなければならないと感じました。

次に、市内の下水道施設としては、汚水処理と雨水処理の施設が25か所あり、視察した「江場ポンプ場」「甚内ポンプ場」は、雨水を調節する施設として、流域の浸水を防いでいます。今回、この2つのポンプ場を視察して分かったことは、現在稼働している雨水ポンプ場だけでは市内全域をカバーしきれず、浸水でお困りの地域が多数あるため、できるだけ早い対策を講じていく必要があることを会派所属4人で改めて共通認識しました。

水道施設や下水道施設については、いずれの施設も老朽化が進んでいることや、特に水道管の老朽化、耐震化等について課題があることが、視察をとおしてよく分かったため、会派としても、市に対して、計画的な更新等をしっかりと要望していきたいと思っています。



▲視察した「上野浄水場」



▲視察した「江場ポンプ場」

桑名の「未来」に向けて

自動運転サービスの実証実験を会派で体験！

3月15日(水)、会派で、ナガシマスパーランド駐車場で行われた「自動運転サービスの実証実験」を体験してきました。

自動運転技術は、交通事故の削減、渋滞の緩和、バスの運転手不足解消等に有効と考えられていて、桑名市では、令和元年度から、将来的な自動運転サービスの実現を見据え、様々な形の実証実験が実施されてきています。過去3回の実証実験は、いずれも公道での実証実験でしたが、4回目の今回は、レジャー施設の駐車場内にて、2台の実験用車両を用いて、1周約600メートル、所要時間約8分のコースで行われました。今回の実証実験は、運行管制システムと自動運転車両を繋ぐことで、将来的な交通インフラとしての継続運行を見据えた試みということでした。

参加した会派一同、アトラクションのようなかわいい車体に興味津々。未来を感じさせる車体に試乗し、将来に向けて大いに期待を持つことができました。

市の担当者によると、令和5年4月に、自動運転「レベル4」の運行許可制度を盛り込んだ改正道路交通法が施行されることにより、今後、自動運転移動サービスの実現に向け、国内各地で取組みが更に加速すると思われるとの事で、今後、桑名市でもドライバーレスを可能とするレベル4の自動運転に向け、地域の関係者、関係機関と連携した持続可能な事業モデルの構築といった視点も含め、しっかりと取り組みを進めていくとの事です。

同時に開催された「電気バス」の試乗会にも参加し、CO2を排出しない環境にやさしい電気バスは、思った以上に低騒音で加速性能も高く、快適な乗り心地でした。会派一同、近い将来の普及に期待が持てる試乗となりました。



実験車両の「Millee(マイリー)」



試乗した「電気バス」

支 払 伝 票

令和 5 年 7 月 3 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	5
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 7 月 3 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 7 月 3 日		
支 払 金 額	527,113 円		
支 払 先	株式会社アサブリ		
使 途 内 容	会派だより印刷代・折込代 527,113 円		
備 考	※ 支払番号「4」の印刷代・折込代 7/8について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

No. 030889

領収証

2023 年 7 月 3 日

桑名市議会 会派「未来」 様

金額			百万			千			円
			4	6	0	2	4	1	5

但 印刷・折込代 (内消費税等)

上記正に領収いたしました

〈内訳〉

現金	✓
小切手	
手形	
相殺	
入金時値引	

金額を訂正したもの、
社印・裁者印のないもの
は無効です。

ASAPR!

株式会社アサプリ

〒511-0839 三重県桑名市安永923 TEL(0594)23-5471 FAX(0594)23-5495



領 収 書 等
添付合計金額

662,415 円 (内、政務活動費充当額 527,113 円)

支 払 伝 票

令和 5 年 10 月 25 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	6
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和 5 年 10 月 25 日		
支 払 年 月 日	令和 5 年 10 月 25 日		
支 払 金 額	299,842 円		
支 払 先	JR他		
使 途 内 容	全国市議会議長会フォーラム及び岡山市議会行政視察 299,842 円		
備 考	交通費 151,480円 宿泊費(朝食込・2泊) 93,200円 夕食代 16,000円 参加費 36,000円 振込手数料 162円 ※振込手数料は参加した会派の人数割で按分 手土産代 3,000円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

活動実績旅費明細書

令和 5年 10月 26日

会 派 名 又は議員名			未来				会派代表者 又は議員印				
参 加 者 氏 名			近藤 浩 水谷 憲治 藤本 直子 伊藤 知美				支 払 項 目		調査研究費		
							支 払 番 号		6		
場 所 (調 査 先)			西日本総合展示場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1) 岡山市役所 (〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号)				会 計 帳 簿 記 入				
年 月 日			2023/10/25-27				計 算 確 認 印				
概 算 額			精 算 額				差 引 額				
0 円 (1人分)			37,870 円 (1人分)				37,870 円 (1人分)				
月 日	乗 車 駅 名	時刻	路 線 ・ 列 車 名	降 車 駅 名	時刻	枚 数	乗 車 賃	特急・急行券 座 指 普 通		日 当	宿 泊
10:25	桑 名		JR関西線	名 古 屋			9,900 (往復割引)				
(水)	名 古 屋		新幹線	小 倉				7,410			
10:26	小 倉		新幹線	岡 山			9,900 (往復割引)	5,230			
(木)											
10:26	岡 山		新幹線	名 古 屋				5,430			
(金)	名 古 屋			桑 名							
概 算 額								0	0	0	0
精 算 額						37,870	19,800	18,070	0	0	0
過不足の理由											
備 考											

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

桑名市議会会派

領 収 書

No. 00022546-00

2023/10/26

未来 様

登録番号: T8010701016988

金 額	¥ 4,000 -
-----	-----------

内訳 10%税込 対象合計 4,000 内消費税 363

但し、ご朝食代
(現金)

として、
上記金額正に領収いたしました。



アークホテル岡山

〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-6-1
TEL:086-233-2200 FAX:086-225-1663

担当者



領 収 証

桑名市議会
会派 未来 様

No. _____

金 額

¥ 4,000

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但

R5 年 10 月 13 日 上記正に領収いたしました

ビーラックトラベル株式会社

〒511-0074 三重県桑名市南寺町63

総合旅行業務取扱管理者 水谷憲治

登録番号 TEL 0594-87-5129

収入印紙

GR1619

領 収 書 等
添付合計金額

50,400 円 (内、政務活動費充当額 50,400 円)

請 求 書

2023年 10月 13日

桑名市議会

会派 未来 様

この度は、弊社にご下命頂き誠に有難うございます。
下記の通りご請求申し上げます。

ビーラックトラベル株式会社

三重県知事登録旅行業第3 - 348号

〒511-0074 三重県桑名市南寺町63番地

T E L 0594-87-5129 F A X 0594-87-5139

代表取締役 水谷 憲治

担当者 :

請求金額 46,400 円

御旅行 日程 2023年 10月 26日 ~ 10月 27日

項目	数量	単価	金額	備考
御宿泊代	4	11,600	46,400	ご宿泊分
企画費	4	0	0	
取扱費	4	0	0	
合計			46,400	

振込の場合は下記口座までお振込み下さい。

銀行名 百五銀行

支店名 員弁支店

口座番号 普通預金

口座名義 ビーラックトラベル株式会社

誠に恐れ入りますが、振込手数料はお客様でご負担いただきますようお願い申し上げます。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

駅-No 51308070 領収書-No 33
窓口-No 101

領 収 書

桑名市議会会派 未来 様

金額 ￥151,480円
[消費税等込み・10%]

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2023年10月11日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

桑名駅

現金出納社員 

<乗車券> (1人分)

桑名 ↔ 小倉 22,000円 - 2,200円 = 19,800円
(往復乗車券)

<特急券> (1人分)

名古屋 → 小倉 7,410円

小倉 → 岡山 5,230円

岡山 → 名古屋 5,430円

特急券計 18,070円

乗車券代 特急券代

(19,800円 + 18,070円) × 4人 = 151,480円

Date: 2023/10/25

桑名市議会会派 未来

領収書

No. 50757

御芳名
Name

近藤 浩他 3名

様

領収書金額
Total Amount

¥42,800.-

10%対象 ¥42,000(内消費税 ¥3,818) 8%対象 ¥0(内消費税 ¥0) 内宿泊税 ¥800

但し、ご宿泊代として

2023年10月25日 上記の金額正に受領いたしました

株式会社クォーターズ (登録番号: T9340001016688)

☐ クレジットカード扱い / Use of the Credit Card

印紙



〒803-0814 福岡県北九州市小倉北区大手町12-3
TEL: 093-592-5401 FAX: 093-592-5419

領 収 書 等

添付合計金額

194,280

円

(内、政務活動費充当額

194,280

円)

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

現金用

振込金受取書(兼手数料受取書)

2023年 10月 20日

お受取人 お名前 フリガナ おとこ	振込先 みずほ 農協 信金 信組 協 店(所) 十中支店	金額 十億 百万 千 円 7204000
	貯金種目 1:普通 2:当座 4:貯蓄 9:その他 口座番号 0660182	現金類 未決済小切手 枚
	フリガナ カガシカイシヤ シェアイービー	貯金振替 起算日・指定日 月 日
	株式会社 JTB 様	手数料徴収区分 1:即時 2:後納 9:不要 消費税額(10%) 70円

○お振込金額のうち決済未確認の小切手は、上記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続をしないで当店において返却します。

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- この振込金受取書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店

三重北農業協同組合桑名支店

登録番号 T 9190005008904

JAバンク

領票番号 ZJS-KW0111 4/5 2023.05 F

※ 原本は会派結の収支報告書に添付

- 参加費(1人あたり) 9,000円 × 4人 = 36,000円
- 振込手数料 770円 ÷ 19 × 4人 = 162円

領収書等
添付合計金額

204,770 円 (内、政務活動費充当額 36,162 円)

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月20日

桑名市議会会派 未来 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 36,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

領収書等貼付用紙

整理番号													
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 資料購入費	☐ 研修費 ☐ 人件費	☐ 会議費 ☐ 事務費	☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情費	☐ 資料作成費								
生地づくりから 風流 せん すべて手造り 手焼処 たかやま 桑名市相川町51番地 TEL・FAX <0594>21-5636 2023-10-24 15:13 000006 <table border="0"> <tr> <td>部門09</td> <td>¥3,000</td> </tr> <tr> <td>内税対象計</td> <td>¥3,000</td> </tr> <tr> <td>内税 8.0%</td> <td>¥222</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>¥3,000</td> </tr> </table> ※ 領収書の原本を紛失してしまったため、 写しを添付。 行政視察先への問い合わせから、手土産拝参の 確認がとれたため、政務活動費の充当を認めた。						部門09	¥3,000	内税対象計	¥3,000	内税 8.0%	¥222	現金	¥3,000
部門09	¥3,000												
内税対象計	¥3,000												
内税 8.0%	¥222												
現金	¥3,000												
領収書等 添付合計金額	3,000 円 (内、政務活動費充当額 3,000 円)												

調査研究・研修活動実績報告書

R5年 11月 30日

会 派 名	未 来	会派代表者印	
年 月 日	2023年10月25日 ～ 2023年10月27日		
時 間	8時 ～ 21時		
参加者氏名	伊藤 知美		
場 所	①西日本総合展示場（北九州市） ②岡山市役所（岡山市）		
調査・研究先説明者	① 片山義博（大正大学教授）・谷隆徳（日本経済新聞編集委員） 濱田真里（Stand by Women代表）・辻弘之（登別市議会議員）他 ②岡山市役所職員		
目的・内容	1日目 ○ < 講演 > 片山義博氏による基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」 地方議会の現状とこれまでの地方議会改革を検証する。 日本の地方議会に欠けていることは？ 現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと 等 < パネルディスカッション > 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 自民過半数を維持・維新議席倍増・女性議員の増加などの傾向や投票率の低さ 無投票当選の多さの現状を挙げ、東京都杉並区の若い世代の投票率向上に向けた ポートマッチの紹介があった。 人口減少社会における地方議では、若年世代・将来世代を含む主体参画 が必須であり、また、多様性に富む地方議会での議論が必要となる。 より多くの人が議員になるために社会全体の変革をしていかなければならない。 2日目 < 課題討議 > 多様な地方議会づくりについて、議員のなり手不足や議員に対するハラスメント問題 を中心にした討議があった。 3日目 岡山市の新庁舎と旭川かわまちづくり計画の社会実験について職員の方から説明して いただいた。新庁舎は、特徴として市民の安全・安心を守る防災拠点・市民に開かれ た集い・憩い・賑わいの拠点・先進環境技術でCO2排出量を削減する庁舎となってい る。新庁舎を考えるに至った経緯としてH9の耐震診断結果で危険なことが分かり、		

	学校の耐震工事終了後から議論しはじめた。 かわまちづくり計画について、石山公園・旭川水辺・出石町地区の例について説明いただいた。石山公園のオープンカフェの課題としては、天候に左右されること。旭川水辺は、実験結果好評により、今年度より本格t系に運営している。 出石町地区では、岡山大学の学生も巻き込んでの取り組みをお話しいただいた。
成果・所感	北九州の議長会フォーラムの講演会とディスカッションにおいては、今の地方議会の課題、議会改革について様々な方面の方の意見が聞けたのがよかった。桑名市議会の改革に参考となるところは、若者の政治参画についてできることを知恵を出し合っていくことだと思った。 議員間のセクハラだけでなく、議員に対するセクハラもありうることに、少し疑問がありながらも、自分事として考えていかないといけないのかなと思った。 岡山の新庁舎の視察においては、必要性を認識してから議論、実行にいたるまでかなり時間がかかっていることに驚きを感じながら、桑名市の庁舎もできるだけ早急に進めないと大変なのではないかと焦りを感じた。 かわまちづくり計画については、前向きでワクワクする取り組みでぜひ桑名でも地域の方々と知恵を出し合って取り組んでいけたらよいなと思った。 事業に手を挙げてもらうとき、プロポーザルでやっていくときは、事前に意思があることを確認したうえで進めていくとのことだったが、事業を着実に進めていくには必要なことだろうなと感じた。 もっと盛り上げていくには、多数の市民を巻き込んでいく工夫が必要なのだろうと思った。

視察報告書

議員名： 藤本 直子

1. 視察先：北九州市、岡山市

2. 視察日時：令和5年10月25日（水）～10月27日（金）

3. 視察事項：全国市議会議長会フォーラム、岡山市新庁舎について、旭川まちづくりについて

4. 視察を通しての考察・参考となった事例・感想等

【全国市議会議長会】

地方議会ではDXのXがまだできていない。

・地方議会に欠けていること

- ① 議会改革が市民に伝わっていない
- ② 住民の声が聞こえない（発言機会がない）
- ③ 住民に参加してもらう（ワクワクしてもらう）
- ④ 税の議論がない（予算は丁寧な議論が必要）

・もっと積極的に取り組むこと

- ① 議会の位置づけの向上
- ② 議案の丁寧な審議
- ③ 教育委員会に目配り
- ④ 教職員のなりて不足 県と市の持ち合いで職員を雇う

・地方議員のなりて不足は単に無投票というレベルにとどまらず、多様化の欠如、投票率の低下といった地域民主主義の問題である

これからは議員の優秀な人材確保の為、キャリアを評価することや、フリーランスと同程度の社会保障や税制措置など働き方の改革も必要である

・女性の声を政治につなげる為に必要なことはプライバシーの保護（住所、連絡先など）新人議員向けの暗黙のルールを教える勉強会やハラスメント研修の実施

・ハラスメントの対応としてなにか起こった時に相談窓口や第三者機関の設置などが今後必要になってくる。ハラスメント倫理条例等の制定を行いルール作りをしておくことが重要である。

【岡山市新庁舎】

新庁舎の建設に至ってはH9大規模診断で引っかかった。市内の小中の耐震化の後手をつけた（H25）

新庁舎の特徴として地震に強い建物であり、主要な設備機器は浸水の恐れがない5階に設置されていて、ライフラインの途絶に備え3日分の非常用発電設備燃料、4日分の飲料水の確保など防災拠点機能の強化が図られている

桑名市の庁舎も現在のままでは災害時業務の継続が不可能に陥る恐れがあり、早急な強化が必要であると思いました。

また屋上テラスやギャラリー、キッチンカーなど市民に開かれた集いの場所を目指されていて憩い賑わいの拠点としても計画されています。

断熱効果も高くなり、再生可能エネルギーも活用されるということで省エネ庁舎も実現されるようです。費用もかかりますが何かあった時に市民の安全・安心を守れる庁舎であることが必要であると感じました。令和8年度に供用開始されるそうで機会があればぜひ視察に行きたいと思います。

【旭川まちづくり社会実験について】

概要としては①石山公園 オープンカフェ社会実験運営業務委託

②旭川水辺 遊覧クルーズ ③出石町地区 旭川河畔賑わい創出事業の3つがあります。

① 石山公園は中心市街地にあるので立地条件をいかし、キッチンカーを用いた賑わいを実験されました。平成27年～28年にかけては賑わっていましたが令和2年～4年にかけてはコロナの影響を受けテイクアウト限定でプレオープンした。ただ経営環境は厳しく営業日や営業時間を集客が見込める曜日・時間に変更してみたが早く終了した。今後は岡山城への観光客も増えることが予想されます。また市民ニーズも高いこともわかりました。今回の実験の課題を検証しさらなるオープンカフェでの賑わいを取り戻していただきたいと感じました。

桑名市でも水辺でのイベントでバーベキューなど開催されました。暖かい時期でのオープンカフェ実験も面白いと思います。

② R2～3年に水面を利用した賑わい創出の社会実験として応募団体の中からおかやま

旭川遊覧クルーズ及びカヌーパーク OKAYAMA が選定され実施されました。ただ充分な取り組みができずR4年に改めて両事業を実施した。

R5年に都市地域再生等利用区域の指定を受ける。遊覧クルーズはテレビや新聞等で大きく報道され大変人気だそうです。

どの事業もメインで行ってくれる事業者があり、盛り上げる事業者の思いが大切だと感じました。

調査研究・研修活動実績報告書

氏名 水谷 憲治

日 時	2023 年 10 月 25 日（水）～ 10 月 27 日（金）
	別紙のとおり
研修名 場所等	①第 18 回全国市議会議長会研究フォーラム（北九州市） 10 月 25 日～26 日
	②岡山県 岡山市 本庁舎 10 月 27 日
目的・内容	①統一地方選挙の検証と地方議会の課題（フォーラム）
	② 本庁舎建て替え事業と旭川かわまちづくり計画について
① 躍動的でワクワクする市議会に（大正大学教授・地域構想研究所長 片山 善博）	
二日間多くの発表者の中で、氏の講演が一番共感できる話でした。	
今の日本の地方議会には、決定機関としての自覚が欠けている。公開の場である議場において、	
（裏のやりとりではなく）市民の目の届くところで議論すべきである。また、市民の声が聞こえて	
いない事が多い。現行の議会の権限を活用して、もっと積極的に取り組むべき事があるのではない	
か？議会の常識と市民の常識のすり合わせが大事である。	
『成果・所感』	
首長（行政）と議会との関係において議会とは首長の付録ではない。国会と違い立法機関では無い	
が、二元代表性の立場により首長・行政に対して強い立場で、市の運営を監視していき、それぞれの	
民意を背景に緊張関係を保っていかなければならないと感じた。	
また今後も市民の皆様が首を傾げる事のない様にしていかなければならないと思う。	
② 岡山市（総務部 新庁舎整備課様 都市・交通部庭園都市推進課様）	
『新庁舎建て替えについて』	
建築後 50 年経過する現在の庁舎は、老朽化・業務の拡大等に伴い建て替えの計画が始まった。	
最新の工法やC o 2 の排出量削減での省エネ庁舎として令和 8 年度中の完成を目指し工事が進め	
られている。	
『成果・所感』	
防災面での機能を持ち、更には来庁目的の将来変化を見据えて、市民活動や様々なイベントの開催	
を通じ、魅力的なまちづくりの拠点となる様考えられている。	
我が桑名市にとっても、近々ではないものの、そろそろ考えなければならない時期に来ている為、	
良い参考事例として、完成後伺いと思った。	
『旭川かわまちづくり計画』	
市内を流れる旭川の河畔の 3 地区に於いて賑わいの創出の為、社会実験などを行っておられます。	
令和に入り、コロナウィルス感染症の影響で多くの事業・計画が中止又は縮小する中、市民の皆様	
をはじめ、様々な事業者の皆様と共に紆余曲折ありながらも効果的な計画を進められています。	
『成果・所感』	
桑名市とは河川（河畔）の位置するところ、規模が異なるが、賑わいを創出する目的としての	
この事業（計画）は、大変参考になった。行政主導ではなく、市民・事業者と三位一体で息の長い	
事業となるであろう。今後も注視していきたい。	

調査研究・研修活動実績報告書

令和5年11月16日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会 派 代 表 者 印 又 は 議 員 印	近藤 浩 
視 察 年 月 日	令和 5 年 10 月 25 日(水) ～ 27 日(金)		
時 間	下記のとおり		
参 加 者 氏 名	近藤 浩		
場 所 (調査先)	下記のとおり		
調査・研修先説明者	下記のとおり		
目 的 ・ 内 容	■第1日目 10月25日(水) 13:00～17:00 第18回全国市議会議長会研究フォーラム(第1日目) 会 場 北九州市 西日本総合展示場 13:00～13:20 開会式 全国市議会議長会会長(神戸市議会議長) 坊 恭寿 氏 13:20～14:20 基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 大正学教授兼地域構想研究所長 片山 善博 氏 14:40～16:40 パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 パネリスト 西南学院大法学部教授 勢一 智子 氏 近畿大法学部教授 辻 陽 氏 スタンドバイウーマン代表 濱田 真里 氏 北九州市議会議長 鷹木研一郎 氏 コーディネーター 日経新聞編集委員 谷 隆徳 氏 16:40～17:00 次期開催地挨拶 岩手県「盛岡市」 ■第2日目 10月26日(木) 09:00～11:00 第14回全国市議会議長会研究フォーラム(第2日目) 会 場 北九州市 西日本総合展示場 09:00～11:00 課題討論 「議員の也手不足問題への取組報告」 事例報告 登別市議会議長 辻 弘之 氏 目黒区議会議員 たぞえ麻友 氏 枕崎市議会議長 永野慶一郎 氏 コーディネーター 大正大学教授 江藤 俊昭 氏 ■第3日目 10月27日(金) 13:30～15:30 岡山市役所 視察 ○岡山市役所新庁舎建設について 相手方 新庁舎整備課長 藤原 史郎氏ほか1名 ○旭川かわまちづくり計画について 相手方 庭園都市推進課長補佐 江川 喜博氏ほか3名		

【成果・所感】 下記のとおり視察及び受講所感を記載する。

●基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」について

基調講演では、地方議会の現状と地方議会改革の検証、地方議会に欠けていることとは何か、議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと、などについて講演いただいた。

受講所感としては、講師からは「今の議会は出来レースになってしまっている。公開の場での議論がなされていない」「財政に余裕がなければ税率を変更すればよい。固定観念を取り払う必要がある」「海外では議会に対して関心のない人はいない。市民から意見を聞く機会を作る必要がある」「議案審議をもっと丁寧に」「委員会で条例を作る」などを聞いた。講師が言われた税率を変更することについては、市単独で上げることはハードルが高く、税制は国が担うべきだと思った。今後、議員として活動していく中、講師の言われた丁寧な議案審議などについて心がけていかなければならないと思った。

●パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」について

パネルディスカッションでは、コーディネーターを中心に四名のパネリストによる統一地方選挙の結果と地方議会の課題と解決方策について議論された。統一地方選挙の状況については、「投票率が過去最低を記録」、「女性議員が増加」「無投票当選が依然多い」ことなどが報告された。地方議会の課題については、「議員のなり手不足の課題」や「女性議員に対するハラスメント」などを題材にディスカッションが進められた。

受講所感としては、ディスカッションで話された「議員のなり手不足の課題」については小規模自治体ほどその傾向が強いが、桑名市においては、過去の選挙で定数を下回ったことはなく、前回と今回では、それぞれ39人、33人が立候補しているためなり手不足の状況ではないが、今後の少子高齢化や人口減少などによる影響があるかもしれないので、議会や議員個人としても魅力ある議会にしていかなければならないと思う。また、「女性議員に対するハラスメント」については、女性議員のみならず男性議員に対しても言えることで、やはり相談体制の構築や議会内でのルールの明確化が必要であると思った。今後、桑名市議会の改革について自分なりの提言をしていきたいと思う。

●課題討論 「議員のなり手不足問題への取組報告」

ここでは、課題解決への取組み状況について、登別市議長、目黒区議、枕崎市議の三名から事例発表があった。解決策として、登別市議からは地方議員の養成講座開催について、目黒区議からは若手女性議員のネットワークづくりやママの議員インターン制度について、枕崎市議からは無投票選挙の克服についてだった。

受講所感としては、桑名市においては、議員のなり手不足の問題は差し迫った課題ではないというものの、発表された事例については議員の立候補を促すためには有効であると思うし議会活動の活性化のためにもよいことであると感じた。

●岡山市役所視察「新庁舎建設、旭川かわまちづくり計画」について

市の規模が大きく違う点はあるが、現在進められている岡山市新庁舎建設計画の建設までの経緯や設計コンセプトなどは、老朽化が進む桑名市役所の移転等を考える中で非常に参考になった。

また、岡山市の取り組んでいる旭川かわまちづくり計画については、平成27年からスタートしていることから実績があり、桑名市の進める河川空間を利用したオープン化に対して参考となる部分が多々あった。今後の桑名市の取組みに対して岡山市の事例を提案していきたいと思う。

支 払 伝 票

令和 6 年 1 月 31 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	7
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 1 月 31 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 1 月 31 日		
支 払 金 額	134,750 円		
支 払 先	ART FOREST		
使 途 内 容	会派通信NO.6デザイン料 134,750 円		
備 考	7/8について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証

No.

森研学会 会派 末末 様 2024 年 1 月 31 日

金額	¥	1	5	4	0	0	0	-
----	---	---	---	---	---	---	---	---

内
消費税等

現金			
小切手			

HISAGO #779

但 会派より制作代金

ART FOREST
アートフォレスト・デザイン

〒511-0839 三重県桑名市大字安永1185-2
[PHONE]0594.25.8570 [FAX]0594.25.8571

T8810587423762 消費税 10%



領収書等
添付合計金額

154,000 円 (内、政務活動費充当額 134,750 円)

T8810587423762 消費稅 10%

み

らい

桑名市議会

会派



未来

Vol.6

桑名市中央町2丁目37
桑名市議会 未来



撮影場所：桑名駅東口広場「イルミネーション」

ご挨拶

明るい「未来」をめざし、諸課題の解決に、しっかりと取り組みます。

平素は、桑名市議会及び会派「未来」に対しまして、ご理解とご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

会派「未来」では、「未来につなごう!みんなの桑名」を会派スローガンに掲げ、明るい桑名市の未来をめざして、4人の議員で活動しています。今後も、しっかりと諸課題の解決に向けて取り組んでまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。このたび、先に開催されました令和5年6月と9月定例会の一般質問等を掲載した会派通信第6号を発行いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

なお、今回の表紙写真は、桑名駅東口広場で開催されている「イルミネーション」を題材に撮影いたしました。イルミネーションは、2月29日まで毎日日没から午後10時頃まで点灯されていますので、是非お立ち寄りください。

結びに、引き続き、皆様方のお力添えを心からお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

会派スローガン

未来につなごう!
みんなの桑名

※過去の質問でご報告できなかったものも含む

藤本なおこ



■現職

- 広報広聴委員会副委員長
- 議会運営委員会委員
- 教育福祉委員会委員
- 桑名広域清掃事業組合議会議員

大山田北小学校に設置されている初期日本語教室「なかま」について

Q 送迎タクシーの利用状況は？

A 令和5年6月1日時点での希望者は8人。
2台のタクシーにて希望者全員がタクシー利用できている。

Q 今後の利用者増に対応できるようタクシーの拡充を図る考えは？

A 今後の状況に応じて精査しながら運用を検討しつつ「なかま」教室での適切な指導が受けられるよう努めていく。

Q ネイティブの指導員を雇用する考えは？

A 通級生には母国の多言語が見られ、それぞれの言語に対応した指導員の確保が難しい。

初期の日本語を段階的に学ぶ12週のカリキュラムを用意し、今後も最低限必要な日本語力を身に付けられるように指導していく。

Q クラス分けでレベルに合った指導を行う考えは？

A 現在一人ひとりの子どもにあった方法を工夫して進めている。
今後発達段階や学年に応じた教室の運営や在り方など他市町の事例も参考にしていく。

Q 市内の日本語教室に助成する考えは？

A 日本語教室との連携を強化しながら課題の解決に向けた取り組みや人材の確保、人材育成などを支援していく。

魅力あるまち桑名の発信の取り組みについて

Q 市役所本庁舎南側掲示板の有効利用については？

A 現在、公民連携手法により民間事業者からの提案募集している。
修繕、撤去も含め市の予算をなるべく投入することなく有効な利活用を検討していく。

Q 博物館に音声案内を導入する考えは？

A 議員の提案は多文化共生や誰にでも開かれた博物館という理念に沿うものと考えている。新しい DX の活用も視野にいれつつ引き続き検討していく。

産後ケア事業について

Q 事業所に対する補助金の増額は？

A 現在利用者も多く増加しており、実施できる事業者を増やすなど利用しやすい環境を充実させる中で補助金の増額も費用対効果を含め検討していく。

あり、これまでは使用していなかった。しかし、今後、安定的な量の確保、配送、納品等が可能となり導入できる状況になれば、給食食材のひとつとして使用を検討していく。

誰ひとり取り残さない福祉

Q 障害者優先調達の現状と今後の課題は？

A 調達方針では、障害者就労施設等からの優先調達を前年度の実績を上回るよう定めており、令和4年度の調達実績は、19件で金額にして50万円余であった。本年度については、それ以上の実績になるよう、調達物品や役務の紹介をホームページに掲載し、庁内各部署へ周知を図っている。
また、障害者の経済的自立支援は重要だと認識しており、今後は、障害者就労施設等と情報共有や連携を密接に行いながら庁内各部署との物品などのマッチングが図れるように積極的に取り組んでいく。

Q ヤングケアラーについて、市の取り組み状況は？

A ヤングケアラーは、家庭内のことで問題が表面化しにくく、状況の把握が困難であることが課題と言われている。本市においてもヤングケアラーの認知度向上が必要であり、ヤングケアラーの子どもたちもつらい時には相談してもよいということを分かってもらうため、ポスター掲示やチラシ配布等での啓発に取り組んでいるところである。

Q 今後の支援の具体的な案は？

A 庁内関係部署や市内外の関係機関と連携を深め、周知・啓発を行い、ヤングケアラーの把握に努めていく。また、昨年度から開始しているこどもの居場所事業を活用して、地域の中でもヤングケアラーの相談を含めた、こどもが気軽に相談できる環境の提供をよりいっそう進めていけるよう、こどもの居場所づくりのさらなる充実を図っていく。

伊藤ともみ



■現職

- 教育福祉委員会委員
- 桑名・員弁広域連合議会議員

持続可能な食と農業について

Q 市内有機農業の状況と市の取り組みは？

A 現在、市内で有機農業を行っている生産者は一定数いると把握している。その中で「有機 JAS」の認定を受けている生産者はいないが、県独自に設置している「人と自然にやさしいみえの安心食材」の認定生産者が令和4年時点で水稻6者、トマト1者、ホウレンソウ1者である。

桑名市独自の取り組みとしては、竹資源を活用し、SDGsの推進を目指す「桑名竹取物語事業化協議会」を通じ、竹粉を使用した土壌改良や肥料効果のテストを実施している。有機農業は、環境負荷の低減に資するもので、消費者に安心・安全な農産物を提供できることから、今後も国、県及びJAなど関係機関と連携し、有機農業に取り組む農業者の方々に支援していきたい。

Q 有機農業の推進の一助ともなり得るオーガニック給食導入の考えは？

A 学校給食では、従来から食育の一環として地産地消に取り組んでいる。その中で有機農産物の使用については、食材の量の確保などの課題が

市議会定例会 一般質問 令和5年6月・9月定例会の主な一般質問と当局からの答弁要旨

近藤ひろし



- 現職
- 会派会長
 - 都市経済委員会委員長
 - 議会改革推進特別委員会委員
 - 都市計画審議会委員
- 元職
- 議会運営委員会副委員長
 - 教育福祉委員会委員
 - 広報広聴委員会委員
 - 桑名・員弁広域連合議会議員

「員弁川(町屋川)の整備促進」について

Q 堆積土砂浚渫と立木除去、町屋頭首工の改修は？

A 桑名市としても土砂堆積が進んでいると認識している。今年度は、昨年度と同様の2箇所浚渫予定と三重県から伺っている。また、河川に影響を与える立木の除去についても、順次実施されると伺っている。

も、町屋川に合流する市管理の河川(蓮花寺・西別所・稗田川)が合流する箇所や河川全体の堆積土砂、立木除去を、引き続き、三重県に対して要望していく。また、「町屋頭首工」については、固定堰のため水位調整ができない状況となっているため、可動式となるよう三重県に要望を重ねていく。

「桑名駅東地区の事業推進」について

Q 部分的な工事の先行着手と利便性向上(雨天対策)は？

A 現在、優先交渉権者の長島観光開発(株)と実施協定締結に向けた協議を進めているが、ホテル建設予定地の取得に時間を要している。関係機関との調整の必要はあるが、先行的に既設のペDESTリアンデッキ

を部分的に撤去するなど、事業期間の短縮につながる手法を検討している。また、北勢線西桑名駅から桑名駅に至る雨天対策については、快適性、利便性の向上が図られるよう暫定的整備を前向きに検討している。

「公共施設マネジメント」について

Q 桑名市のめざす公共施設の将来像は？

A 桑名市の公共施設の多くは築40年が経過し、老朽化の問題や維持経費の問題など多くの課題を抱えている。そのため、各施設を単体ではなく、面的な観点で再編、最適配置となるよう検討を進めていく。また、引き続き、公民連携の手法を積極的に活用し、国や県等とのエリアマネジメントの視点も取り入れ、検討を進めていく。

「救急医療体制の充実」について

Q 救急救命センター(3次医療)の設置は？

A 桑名市総合医療センターは2次医療の中核病院として設立されているため、現段階では現体制を継続していく。また、傷病者の受入れができない場合があるなどの課題を解消するため、積極的な救急患者の受入れを、設立団体として桑名市総合医療センターに要請していく。

「観光振興への取組み」について

Q 揖斐川右岸エリアの有効活用については？

A 住吉エリアは、観光資源だけでなく、揖斐川河畔から木曾三川の美しい眺望を楽しめる魅力あふれるエリアであるため、民間事業者等が自由に商業活動を行えるよう、社会実験を試行しながら検討を重ね、都市・地域再生等利用区域の指定をめざしたいと考えている。

学校施設(教育環境)問題

Q 体育館等へのエアコン設置の考えは？

A 平成17年度に中学校の普通教室、令和元年度には小学校・幼稚園の保育室に空調設備を設置した。

特別教室については、更新時期を迎えた中学校の普通教室の設備に合わせて設置に向けた検討を行っている。体育館においては、国からの構造上の指導もあり直ぐには設置出来ない状況である。

また、災害発生時において避難所としての利用も見込めることから、今後、学校再編等を進めていくにあたり、新たな体育館の建設に際しては、空調の設備の設置について検討していく。

多度学園について

Q 廃校(閉校)となる学校とその後の歴史(記憶)の継承は？VRやAR技術の活用したらどうか？

A 市も各校それぞれの歴史、地域の皆様の想い、記憶がある事は十分承知している。また地域の方からもお声を頂いており、具体的な検討は始まっていないが、写真や各校のシンボリックなものの移設、VRやAR技術の活用等何らかのかたちで、歴史・記憶を新しい学校に引き継いでいきたい。

Q 跡地利用計画と地域住民の方々のお声は？

A 担当者を中心に調査・情報収集を行っている。現在利用しているスポーツ少年団に関する事や、廃校後の維持管理を心配する声が寄せられているが、具体的な利活用については、全国的事例や各学校の築年数、設置場所の法令上の制限等の調査・分析結果を地域の皆様と共有し、地域にとっての最善策と一緒に考えていく。今後、地域説明会を開催し情報共有とご意見を伺い、庁内でしっかりと検討し、市の見解を示していきたい。

水谷のりはる



- 現職
- 会派幹事長
 - 総務安全委員会副委員長
 - 議会運営委員会委員
 - 桑名市総合医療センター調査特別委員会委員
 - 桑名・員弁広域連合議会議員
- 元職
- 教育福祉委員会副委員長
 - 都市経済委員会委員
 - 広報広聴委員会委員副委員長
 - 桑名・員弁広域連合議会議員
 - 桑名市総合計画後期基本計画委員会副委員長

組織力と職員力の向上

Q 人材派遣版ふるさと納税をどの様に捉え、導入等の考えはあるか？

A 多様化する市民ニーズに応えていく為には、分野に適応した高い専門性や新たな発想や視点を持ち合わせた柔軟性の高い人材の活躍が重要である。人口減少社会に突入し、優秀な人材を確保する事が非常に難しくなっており、この制度は地方自治体にとって財政負担をすることなく民間企業の専門性の高い効果が期待される制度であると考えている。

本市に於いては令和3年8月に地域再生計画を策定し、国の認定を得られたことから企業版ふるさと納税の受入れが可能となり着々と実績を積み重ねている。今後、人材派遣型についても『人材の確保、活性化』の観点から実現可能なものについては進めていきたい。企業からの人材の派遣を通じ行政に『新しい風』を吹き込み組織の活性化に寄与するものとして、より一層の活用が期待される。専門性の高い外部からの人材の受入れは、既に本市の取組みにおいて高い効果を強く実感している。今後はこの制度を上手く活用し課題に適した人材を受入れ、多様化する課題に機動的かつ柔軟に対応できる組織を築き、しっかりとまちづくりを進めて行く。

視察報告

会派では、議会会期以外には市内視察や各種研修会・関係会議等への出席などの活動を行っています。市内外への視察を行うことで、議員としての知識の修得に努めるとともに、現場の課題を把握し、市に改善を働き掛けていきます。

◆いなべ市のキャンプエリアを視察しました。—Nordisk Hygge Circles UGAKEIを訪問—

11月15日(水)会派で「Nordisk Hygge Circles UGAKEI(ノルディスクヒュグゲサークルズウガケイ)」を視察しました。竜ヶ岳の麓に位置している宇賀溪。「Hygge(ヒュグゲ)」とはデンマークの語源で豊かな時間の過ごし方や暮らし方、心の持ち方を表し「ほっと癒される」心地よい時間と空間やその体験を通して得られる幸福感を示す言葉だそうです。人気のアウトドアブランドの「ノルディスク」といなべ市が手を組んで展開した今年4月にオープンしたキャンプ場です。

宇賀溪の豊かな自然を満喫できるキャンプエリア、常設テントを設けたプライベートエリア、最高級のヒュグゲを体感できるコテージなどがあり、それぞれのニーズに合わせたキャンプを楽しむことができます。また令和5年度末にはレストランも開業予定だそうです。

もともと自由に使用できていたキャンプ場を改修することで、豊かな自然を大切に守り維持しつつ、時代と共に変化するユーザーニーズを捉えたSDGsな活動にも取り組まれています。

日本は今キャンプブームとなっています。この常設テントは冷蔵庫、冷暖房なども揃っていてアウトドア初心者でも安心して楽しめそうです。ただ白いテントだけに木の汚れなどが付きやすく維持管理が大変だということです。

桑名市にも多度峡などの豊かな自然があります。視察したキャンプ場の様な施設が桑名市にも設置されれば、市外からの観光誘客や雇用創出、地産地消に取り組んだお土産やレストランなどによる経済普及効果が期待でき、市の活性化にも繋がるので、市に対して公民連携等の手法を活かした取組みを提案していきたいと思います。



◆市内の地域包括支援センターを視察しました。

—南部地域包括支援センターを訪問—

11月2日(木)、会派で「南部地域包括支援センター」を視察しました。地域包括支援センターは、65歳以上の高齢者やその家族が介護や生活に関する様々なことを相談することができ、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーなどの専門の人が相談を聞いたりお手伝いをしているところです。

例えば、介護のことや介護予防、高齢者の権利を守ったり、虐待を防いだり、お金の管理などについて相談することができます。また、高齢者が介護が必要になるのを防いで、自分で生活できるようになるための計画を立てたり、高齢者のための施設紹介や、介護が必要にならないための取り組みについての指導をしたりしています。

市内には5つの地域包括支援センターがあり、視察に伺った南部地域包括支援センターの所在は江場で、日進・益世・城南地区を8人の職員で担当しています。民生委員との連絡を密にとったり、「地域ケア会議」という、市役所担当課・社会福祉協議会・地域の会社社長などが参加する会議を行ったりして情報共有を活発に行っているとのことでした。

また、地域の皆さんからの相談を受けるだけでなく、特に支援の必要な人や、特定健康診断を受けていない人を中心に、センターから各家庭へ訪問するアウトリーチ支援や、物忘れ講演会の開催、地域の催しの場に出向き、啓発・注意などを行っていただいています。

地域包括支援の現場では、人材不足・人員配置の見直しの必要性・スタッフの心のケアなどが課題になっているとのことでした。高齢化社会において地域包括支援センターの役割は重要であると考えますので、今後これらの課題解決に向けて、会派として市に対し人材の確保や環境整備等を要望していきたいと思います。



桑名の「未来」に向けて

生まれ変わる『伊勢大橋』！ —桑名東部拡張事業—

11月2日(木)、会派で「桑名東部拡張事業」の進捗状況を確認するため、伊勢大橋の建設現場を視察しました。工事を管轄する国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所の方から、これまでの事業進捗や今後の工事予定、工法等について説明をお聞きしました。

この事業は、昭和51年に事業化され、4車線への拡張による渋滞緩和や老朽化の著しい伊勢大橋の架替え、災害に強い道路機能の確保を目的に計画され、北浜町から長島町又木までの延長3.9kmの道路拡張事業です。平成27年9月に事業着手され、現在、早期完成に向けて事業推進中です。

皆様ご存じのとおり、伊勢大橋は昭和9年に竣工(すでに89年が経過)し、雨水や塩害の影響による劣化や老朽化が進んでいるため、南海トラフ巨大地震で発生が予想される津波に対しても脆弱な状況にあるとのこと。そのため、新しくなる伊勢大橋は、最新の橋梁建設基準に基づいて設計されるので、耐震性に優れた橋梁となり、地震時の避難経路や緊急輸送路を確保することができるということです。

新しい伊勢大橋は、広い道路幅や歩道、右折レーンの設置など、様々な対策を実施することでより便利で快適な橋へと生まれ変わり、交通をスムーズにすることで地域の活性化や物流効果も期待されます。

今後の予定については、現在施工中の下部工事に引き続き、本年度から橋梁上部工に着手されるとの事。事業完了までにはしばらく時間がかかりますが、早期完成に向けて、私たちも国等への働きかけを行っていききたいと思います。

会派一同、実際に建設現場に立ち、完成予想図と見比べてみると、一日も早い完成を願う気持ちがより一層強くなりました。

至四日市

長良川

至名古屋



支 払 伝 票

令和 6 年 1 月 31 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	8
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 1 月 31 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 1 月 31 日		
支 払 金 額	527,113 円		
支 払 先	株式会社アサブリ		
使 途 内 容	会派通信NO.6印刷折込料 527,113 円		
備 考	※支払番号「7」の広報紙 印刷・折込料 7/8について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号						
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費	
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費		

領収証

2024 年 2 月 2 日

名古屋市議会 会派「未来」 様

金額			百万			千			円
			4	6	0	2	4	1	5

但 会派通信 Vol. 6 制作代 税率 10 % (税込・税抜) 金額 消費税額等

上記正に領収いたしました 代 税 602,415 54,765

【内訳】

現金 ☒

小切手

手形

相殺

入金時値引

扱者

金額を訂正したもの、
社印・扱者印のないものは無効です。



株式会社アサプリ www.asapri.co.jp 登録番号 T2190001013443

□【本社】 〒511-0839 三重県桑名市大字安永923番地 tel.0594-23-5471代 fax.0594-23-5495

□【名古屋支社】 〒463-0025 愛知県名古屋市守山区元郷2-1205 tel.052-799-1328代 fax.052-799-1596

□【三重支社】 〒510-0304 三重県津市河芸町上野2100番地 tel.059-245-3111代 fax.059-245-1177



領収書等
添付合計金額

602,415 円 (内、政務活動費充当額 527,113 円)

支 払 伝 票

令和 6 年 2 月 26 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	9
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 2 月 26 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 2 月 26 日		
支 払 金 額	3,894 円		
支 払 先	日商器材株式会社		
使 途 内 容	コピー用紙 3,894 円		
備 考	1/2について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。
※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費 ☐ 資料購入費	☐ 研修費 ☐ 人件費	☒ 会議費 ☒ 事務費	☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情費	☐ 資料作成費

№ 033032 **領 収 証**

新市議会 会派 未来 様

収 入
印 紙

金 額	千	百	十	万	千	百	十	円	2024 年 2 月 26 日
				7	7	8	8		

現金	小切手	手形	相殺	期 日	摘 要	金 額
0				/	御 請 求 額	7080
				/		
消 費 税 (10%)						708
合 計						7788

但 _____

日商器械株式会社
OA機器・トータルコピー・測量機
 登録番号 T3-1900-01101-2469
 〒511-0068 三重県桑名市中央町2丁目26番地
 ☎(0594)21-2600(代) FAX(0594)21-8191

取扱者印

(註) 本領収証に社印・領収者名無きもの及び金額、宛名を訂正したものは無効とします

領 収 書 等 添付合計金額	7,788	円	(内、政務活動費充当額 3,894	円)
-------------------	-------	---	-------------------	----

桑名市議会 会派 未来 様

納品書

売上日付 2024/02/14 P- 1 / 1

伝票 No. 7156839
受注 No. 2127586
受注区分 TEL

日商器械株式会社

代表取締役 後藤 渉
三重県桑名市中央町2丁目26番地
TEL 0594-21-2600 FAX 0594-21-8191
担当 店頭 (配達)

TEL. (得意先コード: Z41)

毎度ありがとうございます。下記の通り納品致しますので御查收下さい。

品名	数量	単位	単価	金額	摘要
7ピカコピー用紙 ペーパ-A A4 PA-A4	2	箱	3,540	7,080	
(税額: 708)					
10%対象 税抜: 7,080					
納入先:			小計	7,080	消費税額 (708)
桑名市議会 会派 未来 様			合計	7,788	
TEL			ISO 9001 認証取得		
			HP http://www.nisshokizai.co.jp		

桑名市議会 会派 未来 様

請求書

売上日付 2024/02/14 P- 1 / 1

伝票 No. 7156839
受注 No. 2127586
受注区分 TEL

日商器械株式会社

代表取締役 後藤 渉
三重県桑名市中央町2丁目26番地
TEL 0594-21-2600 FAX 0594-21-8191
担当 店頭 (配達)

TEL. (得意先コード: Z41)

毎度ありがとうございます。下記の通り請求致しますので御查收下さい。

品名	数量	単位	単価	金額	受領印
7ピカコピー用紙 ペーパ-A A4 PA-A4	2	箱	3,540	7,080	
(税額: 708)					
10%対象 税抜: 7,080					
納入先:			小計	7,080	消費税額 (708)
桑名市議会 会派 未来 様			合計	7,788	
TEL			取引銀行 三菱UFJ銀行 桑名支店 当座		
			百五銀行 桑名支店 当座		
			桑名三重信用金庫 本店 当座		

登録番号: T3190001012469

支 払 伝 票

令和 6 年 3 月 1 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	10
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 3 月 1 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 3 月 1 日		
支 払 金 額	51,150 円		
支 払 先	桑名市長		
使 途 内 容	タブレット端末通信料(後期分) 51,150 円		
備 考	1人1か月あたりタブレット端末通信料3,410円(税込) 3,410×5人×3か月＝51,150円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。
※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費				

桑名市24-205

登録番号 T5000020242055

納入通知書兼領収書

〒 511-8601
住 所 三重県桑名市中央町2丁目37番地

未来 近藤 浩

様

年 度	伝票番号	予算	会計	所属
5	0054601 - 001	0	1	30010
款 項 目 節 1	議会費収入			
21 4 3 細節 10	タブレット端末使用料			
金額	51,150 円			
内 消費税	0 円	消費税		
納 期 限	令和 6 年 3 月 31 日			
所 管 課	議会事務局			
摘 要	令和5年度タブレット端末通信料(後期分)			
発 行 日	令和 6 年 3 月 1 日			
上記金額を納入してください。 桑 名 市 長				
上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関		領 収 日 付 印 		

※領収日付印のないものは無効です。

(納入者保管)

桑名市24-205

領 収 書 等 添付合計金額	51,150 円 (内、政務活動費充当額 51,150 円)
-------------------	--------------------------------

支 払 伝 票

令和 6 年 3 月 19 日

会 派 名 又 は 議 員 名	未 来	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 5 年度	支払番号	11
支 払 項 目	資料購入費		
検 収 年 月 日	令和 6 年 3 月 19 日		
支 払 年 月 日	令和 6 年 3 月 19 日		
支 払 金 額	80,770 円		
支 払 先	地方議員研究会		
使 途 内 容	議員力アップ動画セミナーおよび質問力アップ合宿動画データ購入費 80,770 円		
備 考	※振込手数料 770円を含む		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☒ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

振替用

貯金払戻請求書・貯金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

R6年3月19日

お振込先	楽天 第四営業 店(所)	金額	十億	百万	千	円
貯金種目	普通 2:当座 4:貯蓄 9:その他				480	000
お受取人	フリガナ イッポンシヤダンホウジンシーケーセミナー おなまえ 一般社団法人CKセミナー 様	起算日・指定日	月	日		
ご依頼人	フリガナ サイハミライ アズキョウ コンドウ セロン おなまえ 会派未来 代表 近藤 浩 様	手数料徴収区分	1:即時 2:後納 9:不要	手数料(税込)	770	円
	〒 桑名市中央町二丁目37番地	消費税額(10%)		70	円	

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ご指定の口座から貯金を払い戻して振り込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。
- この振込受付書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店

三重北農業協同組合桑名支店

登録番号 T 9190005008904

JAバンク

帳票番号ZJS-KW0111 2/5 2023.05 F

領収書等
添付合計金額

80,770 円 (内、政務活動費充当額 80,770 円)

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☒ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 証

2024 年 3 月 19 日

桑名市議会 会派 未来 様

★ ￥30,000

但 議員が知っておくべき質問のツボ1
議員が知っておくべき質問のツボ2
資料・動画データ代として

上 記 正 に 領 収 いた しま し た

地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室
TEL 050-6868-9678

領 収 証

2024 年 3 月 19 日

桑名市議会 会派 未来 様

★ ￥50,000

但 議員力アップ動画セミナー
5講座 資料・動画データ代として

上 記 正 に 領 収 いた しま し た

地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室
TEL 050-6868-9678

領 収 書 等
添付合計金額

80,000 円 (内、政務活動費充当額 80,000 円)